

上腕式デジタル血圧計 DS-A10J

取扱説明書
NISSEI



作動原理
動脈を腕帶で圧迫すると、心拍に合わせて脈動が起こり、腕帶内の圧力が脈動と同調します。この脈動は腕帶の圧迫状況に応じ変化します。オシロメトリック式の血圧計は、腕帶の圧力を徐々に変化させた時に見られる脈動の大きさの変化をもとに最高血圧及び最低血圧を決定します。

2025年7月作成 A133661-1-B

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、本品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人の危害や損害を未然に防止するためのものです。

禁忌・禁止	本品の設計限界又は不正使用等、責任範囲を超える対象および使用方法。 (誤った取り扱いをすると死または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。)
注意	本品の使用にあたっての一般的な注意事項。 (誤った取り扱いをする人が傷害を負ったり物の損害の発生が想定される内容を示します。)

※物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

禁忌・禁止

<適用対象(患者)>

1) 乳幼児および小児または意思表示のできない人には使用しないこと。ケガや事故をおこすことがあります。

<併用医療機器>「相互作用の項参照」

1) MRI検査を行う際は本品を検査室に持ち込まないこと。MR装置への吸着や、熱傷等のおそれがあります。

2) 高圧酸素患者治療装置に本品を持ち込まないこと。誤動作や破損、爆発のおそれがあります。

<使用方法>

1) 測定結果の自己判断や自己判断による治療はしないこと。必ず医師の指導、指示に従ってください。

2) 傷など未治療の腕に腕帶を巻かないこと。症状を悪化させるおそれがあります。

3) 点滴静脈注射や輸血を行っている腕に腕帶を巻かないこと。ケガや事故をおこすことがあります。

4) 可燃性ガスおよび燃焼性ガスの近くでは使用しないこと。発火・引火のおそれがあります。

5) 耐用期限を超えて使用しないこと。正しく測定できないおそれがあります。

6) 不特定多数の人に対する医療機関や公共の場所では使用しないこと。事故やトラブルの原因になります。

注意

<使用上の注意>

<使用注意>

1) 次の状態や症状又は過去に処置を受けたことのある方は医師に相談のうえ使用すること。正しく測定できないおそれがあります。

・妊娠中毒症を含む妊婦・糖尿病・肝臓病・動脈硬化・高血圧症・不整脈

・乳頭切除した方・血管内挿管・血管内治療・動静脈(A-V)シャント・リンパ節の除去

<重要な基本的注意>

1) 异常加熱が発生した場合は、測定/停止ボタンで測定を中止すること。

2) 血圧は以下の因に変動する場合に測定を中止すること。

・時刻や季節・高血圧の薬剤・飲食(アルコールを含む)・喫煙・活動的緊張・入浴・尿意・会話

・その他の環境(病院での受診など)・測定姿勢(心臓に対する腕帶の高さを含む)

3) 本品を水や消毒液等に浸さないこと。

4) 腕帶の締め付けにより、呼吸の内出血が発生し赤みが残る可能性がある。痛みを感じた場合には測定/停止ボタンで測定を中止すること。

5) 救急搬送中の患者の血圧測定に使用しないこと。

6) 必要以上の頻度で測定を行わないこと。

7) 血圧測定の目的以外では本品を使用しないこと。また、上腕以外に腕帶を巻かないこと。故障や事故の原因になります。

8) 次のような場合は本品を使用しないこと。誤動作や故障の原因になります。

・直射日光のあたる場所・温度差の激しい場所や高溫多湿な場所・ほこりの多い場所

9) 落としたり、強い衝撃を与えないこと。誤動作や故障の原因になります。

10) 使用前に腕の周囲を測り、適用範囲内であることを確認すること。適用範囲外で使用すると、誤差の原因になります。

11) 付属品は指定されたものを使うこと。付属品以外を使用すると、誤差の原因になります。

12) エアーパイプ折れ曲がったりしていないうことを確認すること。圧力がかかるまま腕帶から空気が抜けて、血流障害を引き起こすことがあります。

13) 腕帶は測定部位に正しく装着し、測定中は心臓の高さに保つこと。誤った装着や高さのズレは誤差の原因になります。

14) コードが引張りACアダプタを抜かないこと。コードが断線し、火災や感電の原因になります。

15) 漏れた手汗やACアダプタの抜き差しをこなつたり、ピンセットや導電性のものでふりたしないこと。

16) 電池交換などで本品の電池または電池端子にぶつれているときやACアダプタを抜き差しする際にACアダプタのプラグにぶつれているときは、他の人にぶつれないこと。

17) ACアダプタでの使用中に本品に異常が発生した場合は、コンセントからACアダプタのプラグを抜き、確実に電源を切ること。家庭などの原因によるコンセントにACアダプタのプラグを差し込むと緊急対応ができない場合があります。

18) 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を同時に使用しないこと。発熱などにより故障の原因になります。

19) 本品の上に重い物をのせり、エアーパイプに押しつけないことを。故障の原因になります。

20) 分解・修理・改造はしないこと。誤動作や故障の原因になります。

<相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)>

<併用禁忌(併用しないこと)>

【併用注意】(併用に注意すること)

1) 電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器(ペースメーカー、植込み型除細動器など):誤動作の可能性があります。

2) 腕帶を巻いた側の腕や手に装着した医療機器:腕帶の圧迫により医療機器の機能に一時的な影響を及ぼすおそれがあります。

3) 電気手術器(電気メス):電気メスの高周波エネルギーにより本品が誤動作する可能性があります。

4) 装着形の医療電子機器(心電計など):誤動作の可能性があります。

5) 電磁波を発生する機器(電子レンジ・電磁波調理器など):誤動作や故障の原因になります。

6) 電波を発生する機器(携帯電話・PHSなど)は、本品から30cm以上離して使用すること。誤動作や故障の原因になります。

7) 不具合・有害事象

1) 不具合・動作不良・故障・破損・誤計測

2) 有害事象:痛み・アリギー・反応・血行障害

<妊娠・産婦・授乳婦及び児童等への適用>

1) 妊婦・産婦が使用する場合は、医師に相談のうえ使用すること。

2) 乳幼児および小児または意思表示のできない人には使用しないこと。

<保管方法及び有効期間等>

1) 次回の使用に支障のないよう清潔に保ち湿気の少ないところに保管すること。

保管環境:温度-20~60°C、相対湿度10~95%RH(結露なきこと)

2) 長期間使用しないときは、電池を取り外すこと。電池の液が漏れると、本品を傷める原因になります。

3) 耐用期間:5年あるいは30,000回(消耗品を除く)【自己認証(当社データによる)】

4) 本品は電池や小さな部品が含まれているので、お子様だけが使用したり乳幼児やベットの届く所に保管しないこと。けがや誤飲の可能性があります。

5) エアーパイプコードに巻き付けておいたりしないこと。エアーパイプコードによる窒息のおそれがあります。

6) 本品を長期間使用しないときは、電池を取り外しておきこ。電池を長期間入れたままでする電池の液もれが起こり、本品を傷める原因になります。

<保守・点検に係る事項>

1) 使用後は汚れなどがないか確認すること。

2) 本品の表面の汚れは、ぬる湯や石けん水を含ませた布でよく拭き取り、乾いた柔らかい布で乾拭きすること。

3) 腕帶の汚れは中性洗剤を使い、表面をやさしく洗うこと。

4) エアーパイプの水が入らないように注意し、しっかりと閉めること。

5) 洗濯機を使用したりこすりついたりしないこと。

6) ベンジン、シンナー、ガリソン、アリールなどの溶剤は使用しないこと。本品を傷める原因になります。

7) 動かなくなったり、異音がある場合は、直ちに使用を中止すること。お買い上げの販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

8) 本品および使用済みの電池を廃棄する場合は、各自治体の規則に従い適切に処分すること。

次のものが揃っていますか？

次のものがそろっているかご確認ください。不足しているものがあるときには、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室(0120-211-164)までご連絡ください。

腕帶コネクタ接続部 表示部 测定/停止ボタン ACアダプタ接続部 エアーパイプ 腕帶(KAFU-A10)(消耗品)

ポーチ 取扱説明書(日/英・中/韓) 単3形アルカリ乾電池4本

補用品

製品性能を維持するために、付属品は指定されたものをお使いください。

補用品のお買い求めは、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

ご注文の際は、型式もあわせてお申し付けください。

電池の挿入

① 電池カバーを開ける

本品裏側にある電池カバーを開けてください。



② 電池を入れる

本品の(+)(-)表示に合わせて乾電池を(一)側から挿入してください。(+)側から入れると、電池ボルトを破損するおそれがあります。



③ 電池カバーを閉める

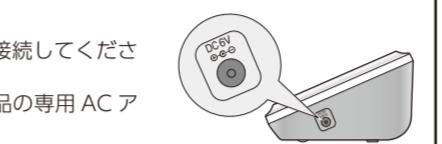
カチッと音がするまでしっかりと電池カバーを閉めてください。



電池残量が少なくなると電池交換マーク【④】が点滅します。電池交換マークが点滅表示から点灯表示になると血圧測定をおこなうことはできません。電池交換マークが表示されたら4本全てを同じ種類の新しい単3形アルカリ乾電池と交換してください。

本品は、専用ACアダプタで使用することもできます。専用ACアダプタを本体側面のACアダプタ接続部に接続してください。

専用ACアダプタは本品に付属されていません。別売品の専用ACアダプタを別途ご用意ください。



正しく測定する為の注意事項

血圧は、測定の条件が変わると値も変わります。毎日同じ時刻に同じ環境で測定するように心がけましょう。

● 朝と夜、測定する時刻を決める

起床後と就寝前が1日の内で最も血圧が安定すると言われています。朝は、起床後1時間以内で食事の前に、夜は、食事の後1時間以上をあけて測定します。

● 同じ環境、静かな場所で測定する

血圧は周囲の音や動きにも影響を受けます。また、寒いと血圧は高くなります。20°Cくらいの室温が血圧測定に適しています。

● リラックスして測定する

緊張したり心が動揺していると血圧は高くなります。深呼吸を数回して5分くらい安静にしてから測定します。

● 測定中は静かに、動かない

会話をしたり体を動かしたりすると血圧は変化します。また、本品は血圧測定方法にオシロメトリック法を採用しています。オシロメトリック法はかすかな脈動変化をとらえて血圧を測定します。このため、測定中に会話をしたり腕や体を動かしたりすると正しい測定結果となりません。

ポイント

・尿意があるときはトイレに行ってから測定する。

・喫煙直後に測定しない。

・運動、入浴後はしばらくしてから測定する。

尿意があるとき、食事や喫煙の直後、運動中や運動直後は血圧が高くなります。



腕帯を巻く

① 本体と腕帯を接続する